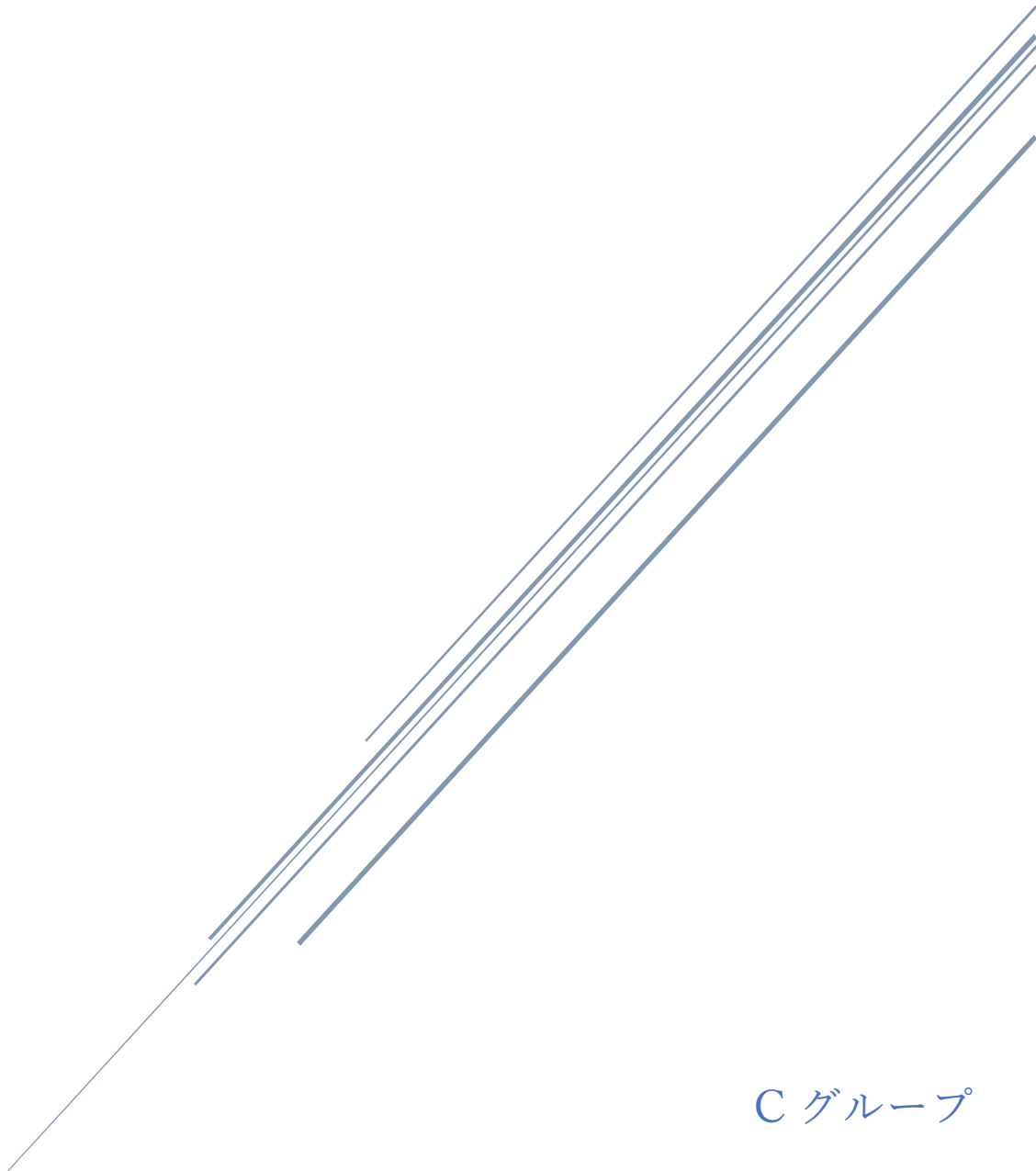


バックキャスト研修

刈田総合病医院

研修報告レポート



C グループ

## 授業前の知識

刈田病院での研修前は、地域病院の様子や地域医療の現状、訪問看護などの内容に関して具体的なイメージを持っていなかった。また、リハビリテーションなどについても具体的に何が行われ、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が行う仕事内容などについても熟知していなかった。さらに、甲状腺手術や腎疾患の発症機序やその予防法などの医科的な知識も少なかった。

## 授業の目的

本研修を通して、地域医療の実態の把握および地域住民のニーズや地域の潜在的な問題を発見し、既存の問題に対しても適切な解決方法を探ることによって、地域で暮らしている方がより幸せな生活を送ることができるような課題解決を目的とする。また、高齢化社会を迎えるなかで、一時的または持続的に自宅での生活が困難になった人々への医療福祉体制を理解し、訪問看護などの見学を通じて、個人の尊厳を維持した適切な医療・ケアを提供するための手段を学び、地域において良好な医療を行うことの重要性を理解する。さら様々な見学を通して、自分の研究分野に活かせる点を見つけることも目的とする。

## 目標

地域病院の研修を通して、「病気の治療」だけでなく、「病気の管理、健康の維持、身体の機能回復」という地域医療の複雑な特徴をとらえ、他職種連携という点で「立体的」に患者を理解する。また、高齢化社会に伴い、地域ではどのような医療問題が存在しているのか把握した上で、具体的な解決策を創出する。さらに、地域医療における「かかりつけ医」の役割と地域における医療、保健、福祉の相関関係、在宅医療を担う職種同士の連携や介護保険などを理解することも目標とする。

## 授業内容・成果

### ・訪問看護同行

白石市近辺在住の在宅看護サービスの利用者宅や介護施設へ実際に足を運び、看護師による訪問看護の現場や現況を学んだ。利用者は家族構成や生活環境、金銭問題などが多種多様であり、都心部では見られない高齢者医療、地域医療の現実を目の当たりにした。一方で、介護施設では、認知症を思いながらも利用者同士で共同生活を営む高齢者との交流ができ、地域密着の介護や看護の現場を体感することができた。また、従事する看護師の勤務内容・状況をも学ぶことができる良い機会となった。医療従事者の学生にとっては地域医療の現状を、そうでない学生にとっては高齢化が進む地域の現場を体験できた。

### ・病院見学

病院見学では座学で学んだ内容を実際に目で見て体感することができた。今回は腎疾患

をメインに、手術の見学や人工透析の現場を見学した。疾患の特徴はもちろん、患者の日常生活に及ぼす影響や、医療費の観点など、多面的に腎疾患について学ぶことができた。

リハビリテーション室では、患者の社会復帰、日常生活への復帰を目標に、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士が身体機能改善のための指導や介助を行っていた。地域の高齢者にとって、退院した後、自立した生活を行うために身体機能低下の防止・予防に努めることは必須事項であり、リハビリテーションがその中核を担う重要な役割であると理解した。

#### ・地域医療連携室

所属する看護師、メディカルソーシャルワーカーから地域医療の連携に関して、業務内容や問題点、課題について説明を受けた。高齢化が進み、地理的にも隔離された地域での問題点は都心部での問題と様相が全く異なるものであった。独居や老々介護、交通の便、マンパワー不足など地域ならではの課題が多くあり、それらを解決するために他職種の連携が必要であることが分かった。

今回の研修では、介護施設を対象とした摂食嚥下機能の会議に参加する機会があり、お互いの専門性をいかに統合していくか、その過程を学ぶこともできた。

### 来年度以降の改善点

七ヶ宿診療所、湯原診療所、訪問看護、グループホームでは十分に研修が行うことができたが、刈田病院内の外来や入院患者の実情についてはあまり触れることができなかった。地域の中核を担う病院の入院・外来患者の実際の対応についても触れられると更に濃密な研修になるのではと考える。

### 授業の限界

1週間を通し、地域病院や訪問看護の様々な問題を体験、発見することができた。しかし、その解決策は病院単独の問題ではなく、行政との協力・提携も必要であると感じた。病院勤務の医師や訪問看護に従事する看護師の不足、交通手段の問題、若者の職不足や減少、他職種連携の複雑化等が、課題解決を困難にしていると考ええる。これらの課題は、医療従事者および行政職員の密な連携を経て解決していくものであると考ええる。したがって、病院見学のみでは課題解決には至らないのではと感じた。

### まとめ

刈田総合病院での研修を経験し、大学病院とは異なる、地域病院の役割や他職種連携、訪問看護など様々な現場を視察し、今後の問題点を認識することができた。また、各々の研究分野・内容を踏まえ、実際の医療現場、患者のニーズ等を把握することができた。この地域医療研修で学んだことを活かし、今後の研究活動やプログラムに役立てたい。